

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	平成 30 年 4 月 21 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	平成 30 年 4 月 21 日 (土)	16 時 05 分
名 称	第 59 回 CPD 科学技術講演会	
主 催 者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開 催 場 所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 15 階 多目的室 (千葉市中央区中央 4-5-1)	
行 事 内 容	挨拶 (主催者側 代表) 講演 「巨大地震発生短期予測の可能性追求ー地象天気予報を目指してー」 講師:服部 克己 氏 千葉大学大学院理学研究院 教授	
参加人数	46名	

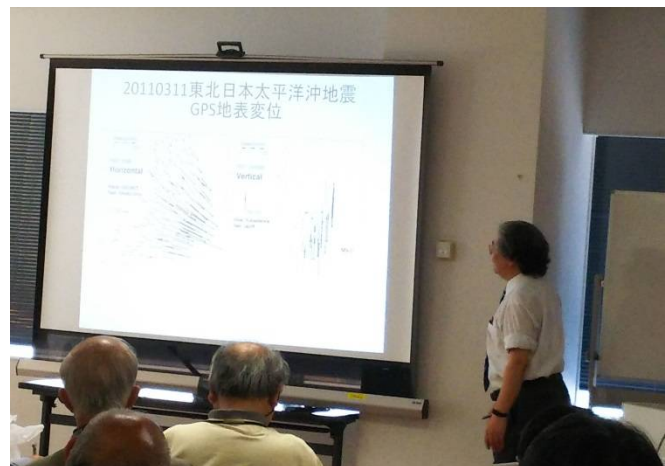
講演概要 : GPS を用いた中国・インドおよび日本の地殻変動と地震発生とが密接に関係している。GPS などの力学的手法では、火山活動には有効であるが地震の前兆現象の検知は難しい。地震や火山活動などの地殻活動に先行する電磁気現象の観測例が世界各地で報告され、電磁気現象の発生機構を解明し、地殻活動監視システム (地象天気予報) の実現を目指す研究が進んでいる。本講演では過去の地震発生前の GIM-TEC 異常の観測と地震発生とが相関があり、千葉大学では、0.01Hz のような超低周波 ultra low frequency(ULF) 電磁放射を磁場センサーで検出し、地震発生の 1 時間前に予測可能を目標にして研究活動されている。

副支部長挨拶

講師



講演の様子



講演の様子

